

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re application of :
Hideo MISUMI :
Serial No. NEW : **Attn: APPLICATION BRANCH**
Filed April 16, 2004 : Attorney Docket No. 2004_0566A
INDICATOR OF SIZE, ETC., TO BE :
ATTACHED TO CLOTHES HANGER AND
CLOTHES HANGER WITH INDICATOR OF :
SIZE, ETC.

CLAIM OF PRIORITY UNDER 35 USC 119

Commissioner for Patents
P.O. Box 1450
Alexandria, VA 22313-1450

THE COMMISSIONER IS AUTHORIZED
TO CHARGE ANY DEFICIENCY IN THE
FEES FOR THIS PAPER TO DEPOSIT
ACCOUNT NO. 23-0975

Sir:

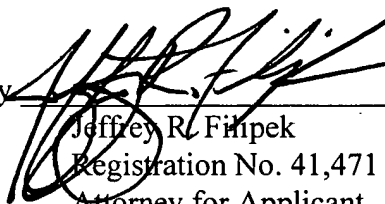
Applicant in the above-entitled application hereby claims the date of priority under the International Convention of Japanese Patent Application No. 2003-119644, filed April 24, 2003, as acknowledged in the Declaration of this application.

A certified copy of said Japanese Patent Application is submitted herewith.

Respectfully submitted,

Hideo MISUMI

By



Jeffrey R. Finpek
Registration No. 41,471
Attorney for Applicant

JRF/fs
Washington, D.C. 20006-1021
Telephone (202) 721-8200
Facsimile (202) 721-8250
April 16, 2004

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日 2 0 0 3 年 4 月 2 4 日
Date of Application:

出 願 番 号 特 願 2 0 0 3 - 1 1 9 6 4 4
Application Number:
[ST. 10/C]: [J P 2 0 0 3 - 1 1 9 6 4 4]

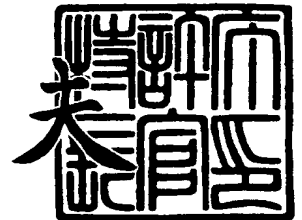
出 願 人 三 角 英 雄
Applicant(s):



2 0 0 3 年 1 0 月 1 6 日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

今 井 康



【書類名】 特許願

【整理番号】 P15-074MK

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 A47F 7/19

【発明者】

 【住所又は居所】 大阪府大阪市平野区流町 3 - 4 - 9 ベルティハイム 4 0
 2 号

 【氏名】 三角 英雄

【特許出願人】

 【識別番号】 595017724

 【住所又は居所】 大阪府大阪市平野区流町 3 - 4 - 9 ベルティハイム 4 0
 2 号

 【氏名又は名称】 三角 英雄

【代理人】

 【識別番号】 100076406

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 杉本 勝徳

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 001786

 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

 【物件名】 明細書 1

 【物件名】 図面 1

 【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 衣料用ハンガーに装着されるサイズ等の表示具及びサイズ等の表示具付き衣料用ハンガー

【特許請求の範囲】**【請求項1】**

衣料等が装着されたときに外面に露出する衣料用ハンガーに形成された取付け部分に装着されるサイズ等の表示具であって、可撓性シート状部と、その両端寄り部分に、前記取付け部に止着される止着部とを備え、止着部を掛合させたときに外面となる部分の複数箇所にサイズ等の表示部を印刷したことを特徴とする衣料用ハンガーに装着されるサイズ等の表示具。

【請求項2】

可撓性シート状部にV若しくはU形の溝を刻設して谷折れヒンジを形成し、当該谷折れヒンジで折り曲げることにより両端寄り部分の止着部同士が対面するように構成したことを特徴とする請求項1に記載の衣料用ハンガーに装着されるサイズ等の表示具。

【請求項3】

衣料等が装着されたときに外面に露出する衣料用ハンガーに取付け部を形成し、該取付け部にシート状部の表面部分にサイズ等の表示を施した表示具を折り曲げて両端寄り部に形成された止着部を嵌合させることにより前記衣料用ハンガーの取付け部に取り付けたことを特徴とするサイズ等の表示具付き衣料用ハンガー。

【発明の詳細な説明】**【0001】****【産業上の利用分野】**

本発明は、衣料用ハンガーに装着されるサイズ等の表示具及びサイズ等の表示具付き衣料用ハンガーに関する。

【0002】**【従来の技術】**

一般に、衣類を吊持するハンガーは、衣類を吊持した状態で小売店に搬入され

、これをその儘、またはサイズ別に仕分けされて展示・販売されるようになって
いる。

そして、衣類のサイズを表示する場合、一般的には周囲の三箇所にサイズの数字や号数を印刷手段（例えば特許文献 1 参照）によりプリントした短寸で“C”型のサイズ表示用小片をハンガーのフック部分に嵌着するようにしている。

【0 0 0 3】

【特許文献 1】 特願平 6 - 3 0 8 4 1 8

【0 0 0 4】

【発明が解決しようとする課題】

ところが、サイズ表示用チップの C 形部分をハンガーのフック部分に弾性変形させて直接嵌着するようにしたものでは、その弾性力で止まっているだけなので、このサイズ表示用チップが連れ動き易いだけでなく、ハンガーのフック部分から外れて取れてしまいやすいという問題があった。

しかも、小さな C 形のサイズ表示用チップの周面に位相を異ならせて印刷しなくてはならず、装置全体が大型化するだけでなく、印刷時に印刷面の周囲に固定用のマージンが必要であることから、印刷される表示部分も小さく見難いものになってしまうという問題もある。

本発明は上記問題点に鑑み提案されたもので、ずれ動くことなく確りと取り付けられ、表示部への印刷も可及的に大きく印刷できて見易くできるようにすることを目的とするものである。

【0 0 0 5】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために本発明にかかる衣料用ハンガーに装着されるサイズ等の表示具は、衣料等が装着されたときに外面に露出する衣料用ハンガーに形成された取付け部分に装着されるサイズ等の表示具であって、可撓性シート状部と、その両端寄り部分に、前記取付け部に止着される止着部とを備え、止着部を掛合させたときに外面となる部分の複数箇所にサイズ等の表示部を印刷したことを特徴とするものである。

【0 0 0 6】

また、本発明にかかる衣料用ハンガーに装着されるサイズ等の表示具では、可撓性シート状部にV若しくはU形の溝を刻設して谷折れヒンジを形成し、当該谷折れヒンジで折り曲げることにより両端寄り部分の止着部同士がずれなく正確に対面するように構成したことも特徴の一つである。

【0007】

更に本発明にかかるサイズ等の表示具付き衣料用ハンガーは、衣料等が装着されたときに外面に露出する衣料用ハンガーに取付け部を形成し、該取付け部にシート状部の表面部分にサイズ等の表示を施した表示具を折り曲げて両端寄り部に形成された止着部を嵌合させることにより前記衣料用ハンガーの取付け部に取り付けたことを特徴とするものである。

【0008】

【発明の実施の形態】

以下、本発明にかかるサイズ表示付きハンガーを図面に基づいて説明する。

図1は本発明に係るサイズ等の表示具付きハンガーの斜視図であって、図中符号1はサイズ等の表示具付きハンガーのサイズ等の表示具2を装着する部分を全体的に示す。

このサイズ等の表示具付きハンガー1は、合成樹脂製のハンガー本体3と、このハンガー本体3の中央部分に開口部4が側方（図上左方向）に向けられたフック5と、フック5の基端部に装着されたサイズ等の表示具2とを備えてなる。

【0009】

上記合成樹脂製のハンガー本体3はポリエチレン、ポリプロピレンなどの比較的軟質な合成樹脂材料で断面がI形に形成されている。

上記フック5は、ハンガー本体3の中央上部を上方に突出させ、突出部7の上縁中央部分から延出されている。

そして、フック5と上記ハンガー本体3の突出部7との間の鋭角部分8には取付け孔9が形成された三角板状の取付け部10を一体形成し、この取付け部10に後述のサイズ等の表示具2が装着される。

【0010】

サイズ等の表示具2は、図2及び図3に示すように、ハンガー本体3と同様の

ポリエチレンあるいはポリプロピレンなどの合成樹脂材料でシート状に形成され、左右部分に上記三角板状の取付け部10に合致する三角形状部2a・2bと、中央部に取付け部10の厚みTに合わせた幅の矩形状部2cを備えている。

矩形状部2cと左右部分に形成された三角形状部2a・2bとの境界の裏面に90度のV形の切り込み溝11が形成されて此处に薄肉の折り曲げ部12が形成されている。

【0011】

また、左右部分に形成された三角形状部2a・2bの端寄り部には互いに嵌合する止着部13が形成されるとともに、止着部13を掛合させたときに外面となる三角形状部2a・2b及び矩形状部2cの各部分のそれぞれにサイズ等を印刷した表示部14が形成されている。

止着部13は一側（三角形状部2a）に掛合孔15を穿設し、他側（三角形状部2b）に掛合孔15に掛合する掛合片16を突出して形成してあり、掛合片16の先端部分は大径にして抜け止め用部分16aが形成してある（図4参照）。因みに図4に示すようにまたこの掛合孔15は掛合片16の進入側がテーパ面15aに形成され、嵌合し易く抜けにくくしてある。

【0012】

上記表示部14は、サイズ等の表示具2を展開した扁平（平面）状の時に三角形状部2a・2b及び矩形状部2cの各面に印刷してある。

このようにサイズ等の表示具2を展開状にして印刷するときには、各面に連続して広い面積に印刷することができるので、簡単に且つ大きく印刷することができる。

【0013】

上記のように形成されたサイズ等の表示具2をハンガー本体3の取付け部10に装着する手順を次に説明する。

まず、止着部13の掛合片16を、取付け部10の取付け孔9に貫通させる。

次に、矩形状部2cと三角形状部2a・2bとの境界の裏面に形成されたV形の切り込み溝11を順に谷折れさせてゆく。

すると止着部13の掛合片16の先端部分と掛合孔15とが正確に対面する位

置になるので、掛合孔15に掛合片16が貫通するように押し込み嵌合させると、サイズ等の表示具2のハンガー本体3への取付けが完了する。

【0014】

斯くしてハンガー本体3に装着されたサイズ等の表示具2は、掛合片16の先端部分の抜け止め用部分16aが掛合孔15に抜け止め状に掛止されるので、サイズ等の表示具2がずれ動いたり、ハンガー本体3から抜け外れたりすることがなくなる（図4参照）。

【0015】

因みに、本例では矩形状部2cと三角形状部2a・2bとの境界の裏面にそれぞれV形の切り込み溝11（計2本）を形成するようにしてあるがこうしたものに限られず、3本以上にすることができるその場合、V形の切り込み溝11の角度は、その本数により変更することにより、止着部13の掛合片16の先端部分と掛合孔15とが正確に対面するように位置させることができる。

更に、この切り込み溝11はV形に限られず、U形にすることができるのは勿論である。

【0016】

また、上記実施の形態ではハンガー本体3の取付け部10を取付け孔9で形成し、止着部13を掛合片16と掛合孔15とで形成するようにしてあるが、これに代えて図5に示すようにハンガー本体3の取付け部10を突起18・18で形成するとともに、止着部13をこの突起18・18に嵌合する掛合孔19・19で構成することもできる。

更に、図6及び図7に示すように、サイズ等の表示具2は前記と同様の合成樹脂材料でテープ状にし、これを撓ませてハンガー本体3の取付け部10に装着するようにすることもできる。

【0017】

【発明の効果】

本発明は以上に説明したように、衣料等が装着されたときに外面に露出する衣料用ハンガーに取付け部が形成され、この取付け部にシート状部の表面部分にサイズ等の表示を施した表示具を折り曲げて両端寄り部に形成された止着部を嵌合さ

せて衣料用ハンガーの取付け部に取り付けるようにしてあるので、従来のサイズ表示用チップの弾性で保持するものに比べて確りと取り付けることができ、ずれ動いたり、外れたりするのが防止できる。

【0018】

しかも、表示部への印刷もサイズ等の表示具を扁平な状態にして印刷することができるので、装着した時に異なる面に連続して印刷することができる。これにより、従来のように各表示面に固定用のマージンを必要とせず、サイズ等の表示部分を可及的に大きく印刷でき、見易いものにすることができる利点がある。

【0019】

また、可撓性シート状部にV若しくはU形の溝を刻設して谷折れヒンジを形成し、当該谷折れヒンジで折り曲げることにより両端寄り部分の止着部同士が対面するように構成したものでは、上記効果に加えて、谷折れヒンジ部を谷折りするだけで、止着部同士を対面させることができ、簡単に嵌合させることができる。これにより、装着の操作も正確で簡単に行うことができるという利点がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】は本発明のサイズ等の表示具付きハンガーの要部の斜視図である。

【図2】は本発明のサイズ等の表示具を展開した状態の表面側の斜視図である。

【図3】は本発明のサイズ等の表示具を展開した状態の裏面側の斜視図である。

【図4】は本発明のサイズ等の表示具をハンガーに装着した状態の横断平面図である。

【図5】は本発明のサイズ等の表示具の変形例を示すハンガーの要部の斜視図である。

【図6】は本発明のサイズ等の表示具の更に別の変形例を示すハンガーの要部の斜視図である。

【図7】は本発明のサイズ等の表示具の別の変形例の使用手順を示す斜視図である。

【符号の説明】

- 1・・・サイズ等の表示具付きハンガー
- 2・・・サイズ等の表示具

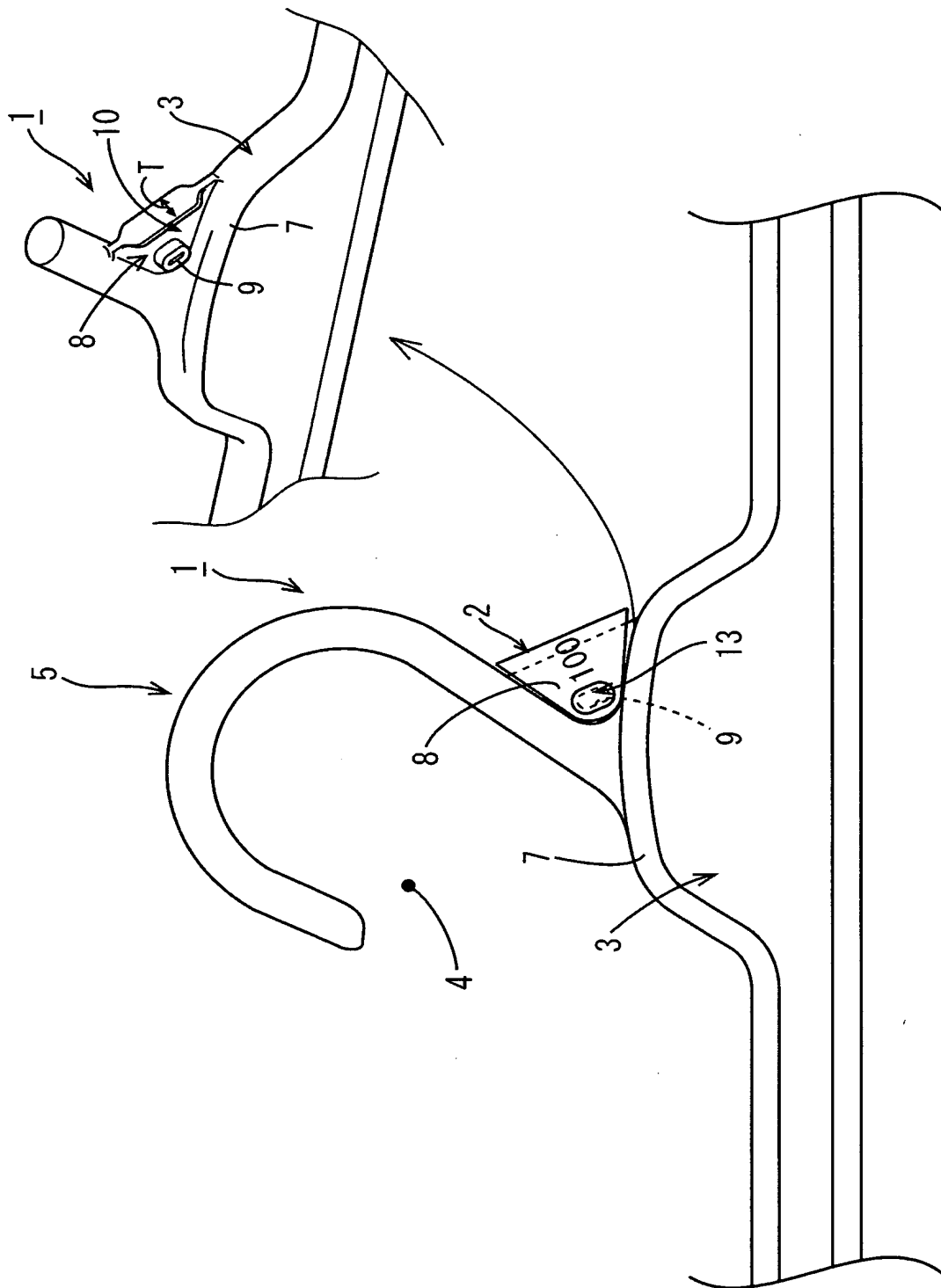
3 . . . ハンガー本体

1 0 . . . 取付け部

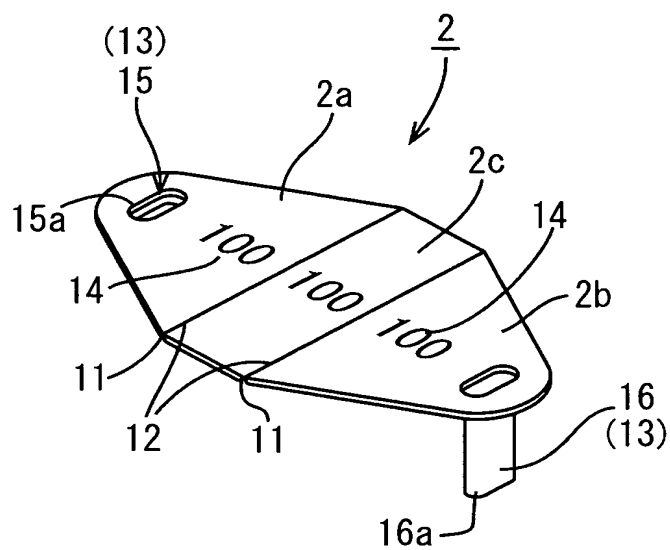
1 1 . . . 溝

【書類名】 図面

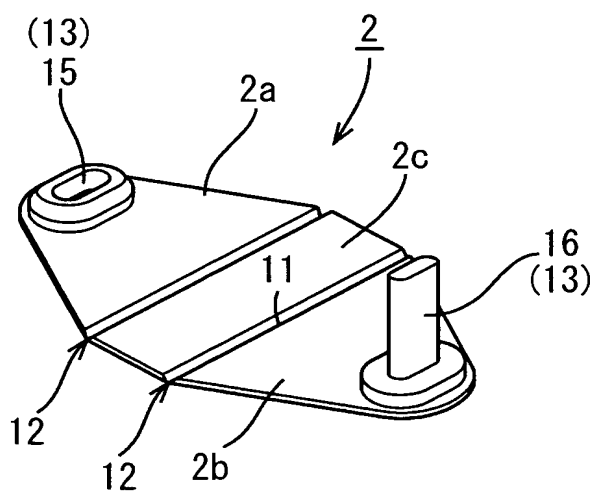
【図1】



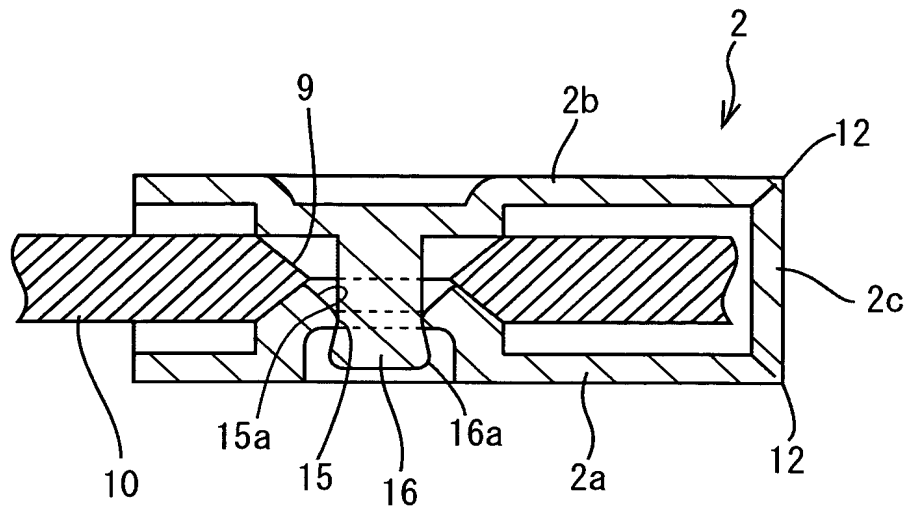
【図2】



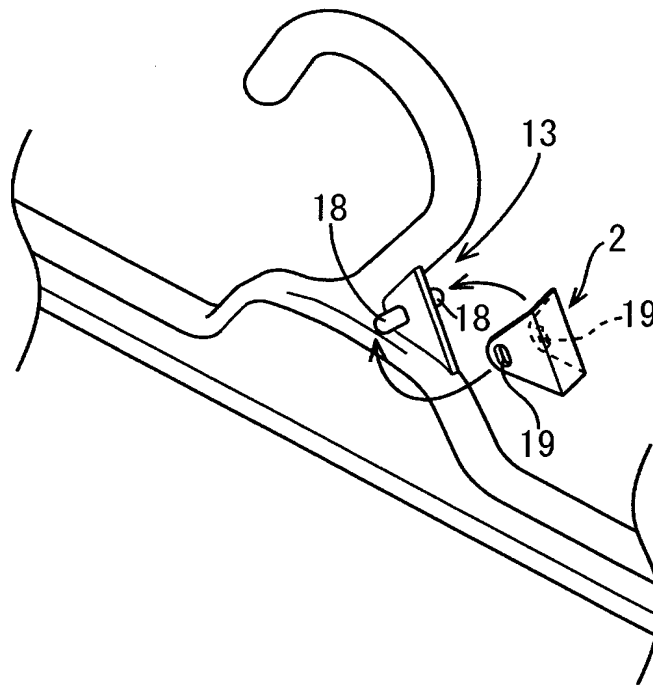
【図3】



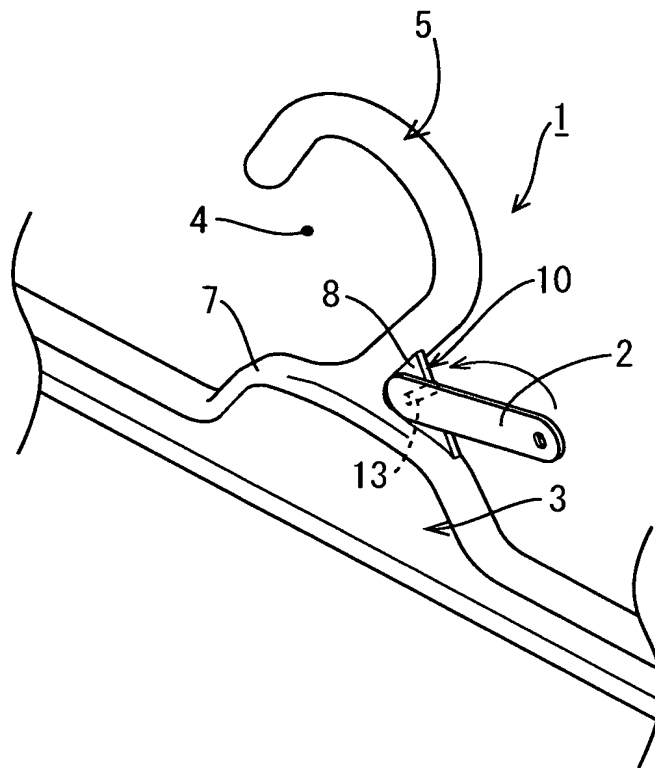
【図4】



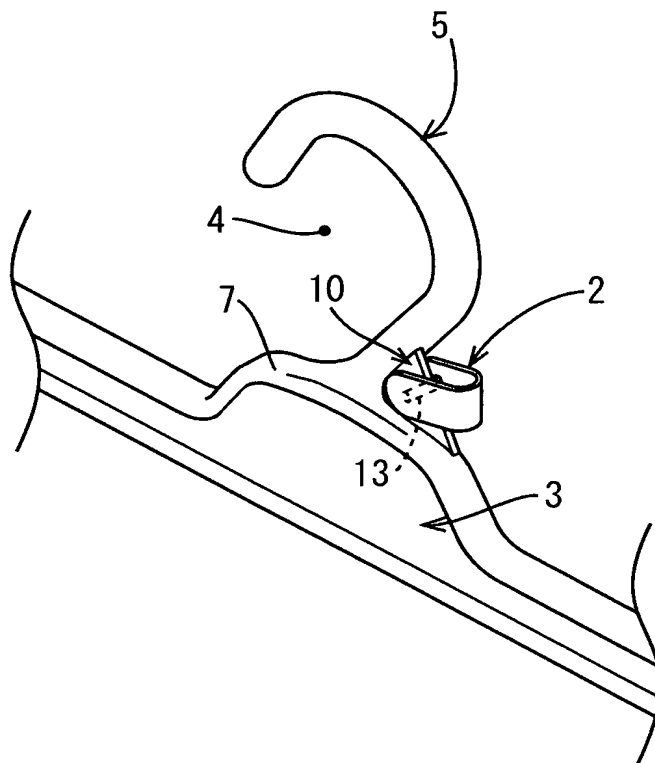
【図5】



【図 6】



【図 7】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】

ずれ動くことなく確りと取り付けられ、表示部への印刷も可及的に大きく印刷できて見易くできるようにすることを目的とする。

【解決手段】

衣料等が装着されたときに外面に露出する衣料用ハンガーに形成された取付け部分に装着されるサイズ等の表示具であって、可撓性シート状部と、その両端寄り部分に、前記取付け部に止着される止着部とを備え、止着部を掛合させたときに外面となる部分の複数箇所にサイズ等の表示部を印刷するようにした。

【選択図】 図2

認定・付加情報

| | |
|---------|--------------------------|
| 特許出願の番号 | 特願 2 0 0 3 - 1 1 9 6 4 4 |
| 受付番号 | 5 0 3 0 0 6 8 6 5 5 0 |
| 書類名 | 特許願 |
| 担当官 | 第四担当上席 0 0 9 3 |
| 作成日 | 平成 1 5 年 4 月 2 5 日 |

< 認定情報・付加情報 >

| | |
|-------|-------------|
| 【提出日】 | 平成15年 4月24日 |
|-------|-------------|

次頁無

特願 2 0 0 3 - 1 1 9 6 4 4

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[5 9 5 0 1 7 7 2 4]

1 . 変更年月日

1 9 9 5 年 2 月 3 日

[変更理由]

新規登録

住 所

大阪府大阪市平野区流町 3 - 4 - 9 ベルティハイム 4 0 2 号

氏 名

三角 英雄